

# 衆議院安全保障委員会ニュース

平成 26. 10. 14 第 187 回国会第 2 号

10 月 14 日（火）、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 中根外務大臣政務官から挨拶が行われました。

## 2 国の安全保障に関する件

- ・岸田外務大臣、江渡防衛大臣、中山外務副大臣、左藤防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 武田良太君（自民）

- ・米軍普天間飛行場の 5 年以内の運用停止に向けた政府の取組の現状及び今後の方針について、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・鹿児島県奄美大島への自衛隊部隊の配備は、地元住民に日本の安全保障の観点から必要であることを理解してもらおうとともに、地元の振興も念頭に進めていかなければならないと考えるが、今後の取組方針について、防衛省に伺いたい。
- ・陸上自衛隊の「特殊作戦群」や今後新編される「水陸機動団」の自衛隊員に対しては、その任務に見合った十分な手当を支給するべきと考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。

### 小野寺五典君（自民）

- ・拡大 A S E A N 国防相会議（ADMMプラス）の意義及び今後の開催予定について、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・中国の漁船や公船の日本領海侵入事案が、東シナ海だけでなく、太平洋でも起こらないようにするために、同海域の警戒監視は重要であると考えますが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・中国に対し、同国漁船の太平洋上海域における違法操業防止を促すための外交的対応について、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

### 佐藤茂樹君（公明）

- ・日米防衛協力のための指針の見直しは、与党協議で合意された「自衛の措置としての武力の行使の新 3 要件」を踏まえた内容にするべきだと考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・今回の「日米防衛協力のための指針の見直しに関する中間報告」では、周辺事態への言及が全くないが、周辺事態という概念をなくすことで日米は合意しているのか、

江渡防衛大臣に伺いたい。

- ・本年 9 月 22 日に開始されたシリア領内の「イスラム国」支配地域に対する米国等による空爆は、国際法上、どのような根拠で正当化されるのか、岸田外務大臣の認識を伺いたい。

### 津村啓介君（民主）

- ・平成 21 年 8 月当時、自らの資金管理団体から受けた寄附 2 件の領収証にサインした際、それが選挙運動費用を目的としたものであると認識していたのではないのか、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・寄附ではなく人件費の支出に政治資金収支報告書を訂正した平成 21 年及び平成 24 年の計 4 件の領収証のうち、平成 21 年分の 2 件を本委員会に提出しなかった理由について、江渡防衛大臣に伺いたい。

### 赤嶺政賢君（共産）

- ・普天間飛行場代替施設建設に関し、地元辺野古区から個人補償等の要請があるが、防衛省は、この要請に対応するための法改正を検討しているのか、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・沖縄防衛局が沖縄県に提出した普天間飛行場代替施設建設に係る埋立の設計変更申請書の写しの提出を求めたところ、現在、県において審査中であるという理由により拒否されたが、なぜ審査中であると提出できないのか、防衛省に伺いたい。
- ・昨年承認された辺野古の埋立申請について、沖縄防衛局は、去る 9 月 3 日に埋立土砂の運搬方法をベルトコンベアからダンプカーへ変更する申請を県に行ったが、これは環境に負荷がかかる変更になるのではないのか、江渡防衛大臣の認識を伺いたい。

### 中丸啓君（次世代）

- ・政府はフィリピンに巡視艇 10 隻を供与することを決定したが、フィリピンでは巡視艇の運用に必要な燃料が不足している状況に鑑み、燃料等の供与についても考えるべきではないのか、岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・国際防衛安全保障装備展示会等の展示会に我が国の中小防衛装備品メーカーが出展できるよう政府が支援することを考えるべきではないのか、防衛省の見解を伺いたい。
- ・新設される水陸機動団に導入するため、参考品として購入した水陸両用車 AAV7 は、その性能等から我が国での運用に向かないと考えるが、防衛省は AAV7 導入の方針を変えるつもりはないのか。